



七小だより

令和2年11月30日
国立市立国立第七小学校
校長 大山紀子
NO. 7 12月

ひとつの言葉から・・・

副校長 清原 周栄

先日は、体育授業参観にご来校いただきありがとうございました。2週間に渡った授業公開は、天候にも恵まれ、全ての学年、学級の授業を予定通りご覧いただけたことに教職員一同、ほっとしております。

特に学年参観の冒頭で披露した表現運動は、保護者の方に見てもらおうということで前回の体育的行事「あつまれ体育の庭」の時とは雰囲気の違い、参観前の子供たちの中には、保護者の方を見つけては手を振ったり、目を合わせては笑顔で応えたりするなど、嬉しさが溢れるように感じました。そして、保護者の方を意識して「思いよ届け!」と言わんばかりに一つ一つの動きに心を込めて表現していました。子供たちにとっても、保護者の皆様にとっても、教員にとっても貴重な時間になったに違いありません。この経験が次への原動力につながると思います。

さて、先週から冬の到来を感じさせる気候となってきました。寒さのせいで朝も布団から出づらく、そしてコロナ禍で明るい話題も少ない中、気持ちも下向きになりがちです。そんな時こそ、子供たちの励みになる「声かけ」を大切にしていきたいと思います。

以下の言葉は、以前私が担任をしていた頃に子供たちから聞き取った「言われて安心した言葉・元気になった言葉」です。

共感する言葉

「よく見付けたね。すごい!!」「その気持ち分かるよ。」「そうだよ。言いたいことすごく分かるよ。」

認める言葉

「それ、すてきだね。」「じょうずになったね。」「がんばってきたから、できるようになったんだね。」

励ましの言葉

「あと少し、いっしょにがんばろう。」「気にしなくてだいじょうぶだよ。」「いいぞ、そのちょうし。」

感謝の言葉

「〇〇さん、本当にありがとう。」「おかげで△△△できたよ。」「うれしいよ。」

私自身もひとつの言葉で救われた経験があります。私が小学生の当時自分の名前が珍しく聞き取りにくいので、好きになれずにいました。そんな時、4月の始業式で名前を呼ばれ、新しい担任の先生から「名前すてきですね。だれに付けてもらったの。」と仰っていただきました。その瞬間、教室の風景が少し明るくなった気がしたのを覚えています。それ以来、自分の名前とともに自分自身を認められた気がして、名前を呼ばれることに抵抗なく、自信をもって返事ができるようになりました。

さて、今年も残り1か月となりました。6月の分散登校がスタートした頃は新しい生活様式に慣れるまで皆が「この先どうなっていくのだろう」と不安に感じるが多かったと思います。現時点でも感染状況を考えると安心はできません。しかし、こんな時こそ子供たちの声に耳を傾け、励ましの言葉をかけ続けられる「子供たちの応援団」でありたいと思っています。本校の子供たちは幸いにも朝の登校中に七小見守り会の方からたくさんの温かい言葉をかけられる機会があります。一つ一つの言葉が子供たちの安心感につながっているはずで、二学期も保護者の皆様、地域の皆様、たくさんの方々を支えていただいたお陰で大きな事故もなく終えられそうです。心から感謝申し上げます。引き続き、本校の教育活動にご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

(裏面へ)



晴れ渡った空の下で
一つ一つの動きが輝いていました!



「特別の教科 道徳」～心を見つめる時間～ 道徳教育推進教師

「特別の教科 道徳」(以下、道徳科)では、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標としています。そのために、授業では、読み物教材の主人公の気持ちを理解するだけでなく、気持ちに共感したり、自分自身を重ねて考えたりすることを大切にしています。教材を通して自分を見つめ、決して一つではない様々な考え方や感じ方を大切にしながら、自分の生き方についての考えを深めています。

例えば、子供たちは、うそをついたりごまかしをしたりしないで、正直にした方がよいということはよく分かっています。しかし、そうとは分かっている、実際はなかなかできないことがあるでしょう。それは、胸に手を当ててみると、大人も同じなのではないでしょうか。それが人間なのです。その“人間らしさ”を理解したうえで、どのようにしていけばよいのかということを経験から教師や友達とのやり取り、そして、自分自身を見つめることでより深く考えていきます。

道徳科の授業は、目には見えない心をじっくりと見つめる時間です。その積み重ねが、子供たち一人一人の心を磨き、自分らしさを輝かせるきっかけになるようにと願い、指導しています。

今後も道徳通信などで道徳科のことについて発信していきますのでよろしくお願いいたします。



～スマイリーサポートについて～ 特別支援教育コーディネーター

国立市の小、中学校には、通常の学校生活を送ることはできるけれど何らかのニーズがある、という子供たちに、学級の中で個別の支援をするため、特別支援教育指導員(スマイリースタッフ)が配置されています。

※1何らかのニーズとは…

「読み書きが苦手」「特定の教科が特に苦手」「集中することが苦手」「集団に入りたいのにうまくできない」「友達との関係がうまく築けない」など、学習面や生活面、対人関係面でサポートを必要とする場合です。

※2個別の支援とは…

何らかのニーズがある子には、何らかの特徴があって、学びにくさ、一緒に活動することの難しさがあります。それがどのようなものかを始めに実態把握し、それぞれの子供の能力や特性に応じて、そっと声かけをしたり、アドバイスをしたりして、生き生きと楽しく学校生活が送れるように支援します。

☆サポートの内容例

- 一斉授業の場面で、個別に教えてもらったり、スタッフに質問したりすることができる。
- 文の読み上げ、書き始めの代筆、書きやすいマス目の用意をしてもらうことができる。
- 自分の言いたいことをもっと上手に表現できるサポートを受けることができる。
- 大事なところに注目するときに促してもらうことができる。



このような支援を受けることで、「できた」「わかった」を増やし、自信を付け、積極的に授業参加できるようにします。また、「どのようなサポートが自分にとって必要か」を知り、自らスタッフに聞いたり、自分で行動をコントロールしたりする方法を学んでいくことで、自立する力を付けていくことができるようになります。

☆具体的なサポート方法、支援開始までの手順、その他何かご質問があれば、いつでも担任や特別支援教育コーディネーターまでおたずねください。



***** 12月・1月の行事予定 *****

<12月>				<1月>	
1日(火)	6年・原爆戦争体験伝承者派遣講話			8日(金)	始業式
2日(水)	6年・邦楽鑑賞教室			19日(火)	希望個人面談①
4日(金)	避難訓練(始業前・地震想定)			22日(金)	希望個人面談②
7日(月)	クラブ活動			28日(木)	希望個人面談③
8日(火)	3、4年・保護者会			<2月>	
9日(水)	5、6年・保護者会 安全指導(情報教育)			3日(水)	希望個人面談④
10日(木)	1、2年・保護者会			※希望個人面談については、別途お知らせいたします。	
11日(金)	日光移動教室前健診 避難訓練予備日			※社会状況に応じて、変更となる可能性があります。その都度、メールや学年だより等でお知らせいたします。	
14日(月)	6年・日光移動教室(～16日)				
17日(木)	6年・午前授業				
18日(金)	ことば・はばたき指導終了・PTA運営委員会				
24日(木)	給食終				
25日(金)	終業式 特別時程 午前授業				
28日(月)	冬季休業日始(～1月7日)				

